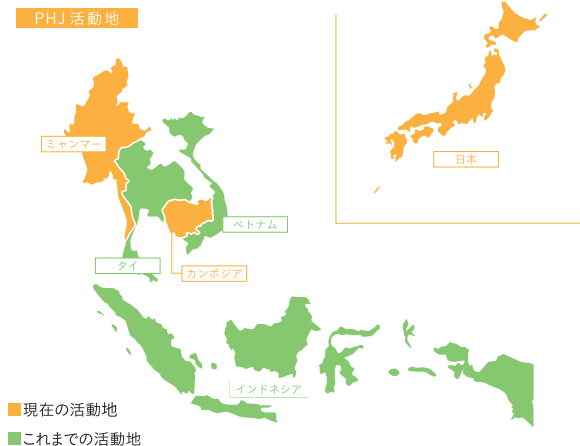




アジアの 母と子を ささえる

- PHJは、東南アジアの人々の自立に向けて「保健・医療の教育」活動に取り組む国際保健医療支援団体です。
- PHJは、米国の国際NGO「Project HOPE」の日本法人として1997年に設立され、2006年に日本の国際協力NGOとして独立しました。
- PHJは、2001年に国税庁より認定NPO法人（第1号）に認定されました。
- PHJは認定NPO法人を取得しているため、寄付金は、所得税・法人税・相続税・一部自治体の個人住民税の優遇措置が適用されます。
- PHJは、910名の個人賛助会員と、およそ130の法人賛助会員に支えられています。（2020年9月現在）



アジアの母と子をささえる
特定非営利活動法人（認定NPO法人）
ピープルズ・ホープ・ジャパン

〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32
TEL : 0422-52-5507
FAX : 0422-52-7035
<https://www.ph-japan.org/>



特定非営利活動法人
（認定NPO法人）



ピープルズ・ホープ・ジャパン

<https://www.ph-japan.org>



©Toshihiro Kubo

お母さんと子どもの命を守り、 健康を育くむ、そのために。

カンボジア、ミャンマーでは、お母さんが出産時に亡くなるリスクは日本の30倍*以上。またミャンマーで赤ちゃんが1歳までに亡くなるリスクは日本の20倍にもなります*。これらの国は、過去の内戦や政治体制などさまざまな要因で、医療環境や医療人材が整っていません。

とくに農村部では自宅出産が多く、難産や多量出血など不測の事態に対応できず、お母さん、そして生まれてくる赤ちゃんも命を落とす可能性が高まります。

ピーブルズ・ホープ・ジャパンが目指しているのは、誰もが健やかに暮らせる地域づくり。

そのために未来を担う母と子を中心とした保健サービスの充実に向けた活動を続けています。

*世界子供白書2019

PHJの活動の特徴

- 自立化を目指した医療・保健分野の教育の実施
- 現地のニーズに沿った地域密着型の草の根活動
- 地域全体をハード・ソフトの両面から継続的支援

主な活動の成果

- 約10年間で11棟の保健センターを建築し、同時に保健・衛生教育や栄養改善活動を実施。(インドネシア)
- 保健センターでの分娩介助率を2%から77%に向上し、住民の運営による搬送システムを確立。(カンボジア)
- HIV/AIDS 予防を目的に大学生・高専生を対象にピア教育を18年間で約55,000人に実施。(タイ)
- 乳がん自己触診検診の推進活動で、5年間で19,667名がトレーニングに参加しました(うち28名が手術)。(ベトナム)
- 中古救急車の寄贈による搬送システムの強化や3棟の助産診療センターの建築支援を実施。(ミャンマー)
- 東日本大震災で被災した気仙沼、石巻、多賀城の病院機能の復興を支援。(日本)

PHJ は東南アジアの人々が

健康に暮らせるように

保健医療分野の教育支援を行っています。

PHJ は東南アジアで国際保健医療支援活動を行う
認定 NPO 法人です。米国の国際 NGO 「Project HOPE」 の
日本法人として設立し、2006 年「ピープルズ・ホープ・ジャパン」
として独立しました。

PHJ の理念

すべての人が健康で希望をもって暮らせるように

PHJ の目的

世界各国の人々に対して、健康及び医療環境の改善と向上に関する事業を
行い、国際協力に寄与することを目的としています。

PHJ の使命

自立しようとするアジアの人々が健康に
暮らせるように、「保健・医療環境の向上」に
むけて教育を中心として自立支援を行います。

運営基本方針

1. 「人間の尊重」

人間を尊重するという基本に立ち、世界の人々が健康で
希望をもって暮らせるよう、その国の人々を信じ、
自立化できるよう支援をしていきます。

2. 「良質な活動」

支援地域の現場ニーズを把握した上で、支援テーマを
自立化への道筋を含め、支援国・地域と協力して選定し、
積極的に活動支援していきます。

3. 「中立性」

運営にあたっては政治、思想、信仰だけでなく学校、
企業に対しても中立性を維持します。

4. 「基金の効率活用」

皆様からのご寄付を 1 円でも多く現地支援に役立てることが
できるように基金の効率的運営を図り、経費を削減します。

支援に関わる誰もがうれしい HAPPY・HAPPY コンセプト



©Toshihiro Kubo

- 1958 年 米国 Project HOPE 設立
- 1997 年 民間の「任意団体」プロジェクト HOPE ジャパンとして活動スタート
医療機器・技術支援開始（インドネシア）
- 1998 年 タイ事務所開設
障がい児・慢性疾患児支援開始（タイ）
口腔衛生教育支援開始（インドネシア）
- 1999 年 インドネシア事務所開設
HIV/AIDS 予防教育支援開始（タイ）
小児先天性心臓病手術支援開始（タイ）
経済企画庁（現内閣府）より「特定非営利活動法人」として認証される
- 2001 年 国税庁より認定 NPO 法人（第 1 号）として認定される
- 2002 年 子宮頸がん・乳がん検診推進開始（タイ）
医療機器・技術支援開始（カンボジア）
- 2003 年 カンボジア事務所開設
母子保健改善活動開始（インドネシア、カンボジア）
- 2006 年 ピープルズ・ホープ・ジャパンとして独立・改称
- 2008 年 ベトナムで HIV/AIDS 予防教育（～2010）、
乳がん早期発見事業（2011～2015）を実施
- 2011 年 東日本大震災緊急・復興支援開始
- 2015 年 ミャンマー事務所開設
母子保健改善活動開始（ミャンマー）
- 2016 年 タイ事務所、インドネシア事務所閉鎖
熊本地震医療支援募金実施（日本）
- 2017 年 創立 20 周年

母と子が医療を受けやすい環境へ。

母子に向けた保健教育

安全な出産や乳幼児の健康推進に向けて、地域住民への健康教育や衛生教育、栄養改善教育を農村地で行っています。

保健人材の教育

安全な出産をめざし、助産師のスキルアップ研修を行ったり、保健センターのスタッフの教育や保健ボランティアの育成などを行っています。

医療施設・機器の支援

住民にとって身近な医療施設がない、設備が整っていないことが多々あります。PHJでは施設の建築支援から設備の寄贈などハード面での支援も行っています。

各国の活動

カンボジア

▶現状

2014年からコンボンチャム州の農村地で活動開始。保健センターにおける分娩や産前後健診の利用が少ない状況。十分な知識と臨床経験のある助産師が不足しています。

▶目指す成果

保健行政区と保健センターが協働し地域住民から信頼されるサービスを提供できる体制を作ること。



ミャンマー

▶現状

2015年よりネビドーに事務所を開設し、タコン郡で活動開始。農村部では自宅分娩が非常に多く、母子保健サービスの改善が望まれています。

▶目指す成果

地域の母子が基礎的な母子保健サービスへアクセスできる医療設備改善、助産師スキル向上、村人の保健知識改善。



支える、支えられるをつなぐために。

募金活動

PHJの活動を数多くの方に支えていただくため、会費や寄付のお願いをはじめ、特定の活動や医療施設・医療機器などの寄贈なども提案しております。

広報活動

PHJの活動を知っていただくために情報発信やイベントなどを開催しています。

講義・スタディツアー

活動で培ったノウハウや活動の内容の出張講義を行っています。また現地を訪問して活動を学ぶツアーも行っています。

東日本大震災支援

被災地の人々のメンタルヘルス向上にむけて

福島県南相馬市の人々のメンタルヘルス向上のため、医療法人結びの会が運営する「ほりメンタルクリニック」(院長 堀有伸先生)の心療カウンセリング事業を支援しています。



PHJ の活動への支援方法

▶ 賛助会員になる

PHJ の理念に賛同いただける方なら

個人・企業・団体どなたでも参加いただけます。

- ・年 2 回の情報誌「PHJ ニュースレター」と年次報告書をお送りします
- ・右ページのハガキ、あるいはホームページからお申込みいただけます。

▶ 寄付をする（一般寄付）

寄付金額をご自身で決定し、いつでもご支援できます。
右ページのハガキ、あるいはホームページからお申込みいただけます。

▶ マンスリーサポーターになる

月 500 円から支援できる「こんにちは！お母さん募金」は PHJ のホームページからお申し込みいただけます。

▶ 協賛する（企業団体様）

- ・スポンサープロジェクト
- ・寄付型自販機設置

会費・寄付振込先

- ・みずほ銀行 三鷹支店（普通）1357971
- ・三菱 UFJ 銀行 三鷹支店（普通）1524692
- ・ゆうちょ銀行（記号）10120（口座）99472271
口座名 ビーブルズホープジャパン

- PHJ への寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。
PHJ は認定 NPO 法人です。そのため PHJ に寄付をされた方は確定申告によって寄付金控除（税額控除）が受けられます。

詳細はホームページから

<https://www.ph-japan.org/> のトップページ▶

支援する▶ 寄付金控除のご案内をご覧ください。

ご入会・ご寄付お申込みハガキ



FAX/0422-52-7035 でもお送りいただけます。

キリトリ



フリガナ

お名前

（紹介者氏名： ）

ご所属（団体名）

住所 〒

メールアドレス

PHJ のメールマガジンに登録する ☐ 登録しない ☐

賛助会員

●個人賛助会員：一口 3,000 円 × ☐ 円 / 年

●法人賛助会員：200,000 円 × ☐ 円 / 年

ご寄付

一般寄付 円

支払方法

☐ 銀行口座振替：賛助会費のお支払に便利です

☐ 銀行振込：振込先は左ページに記載しております

☐ クレジットカード（VISA・MasterCard）

：インターネット決済のため PHJ のホームページ

https://www.ph-japan.org/support_credit

からのお申込みが必要となります。

ボランティア・インターンも募集しております。

PHJの活動に共感し、応援して下さるかたの
参加をお待ちしております。

キリトリ



郵便はがき



差出有効期間
2023年
1月4日まで

東京都武蔵野市中町 2-9-32

特定非営利活動法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン 行き

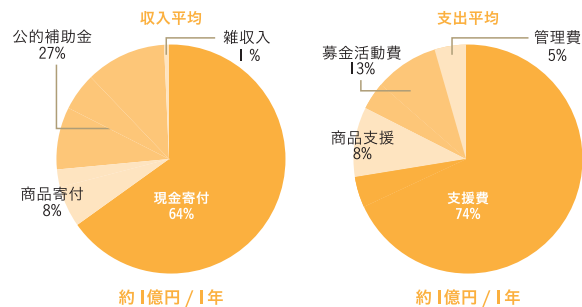


会費・ご寄付はこうに使われます。

PHJの活動は会費、個人、法人からの寄付、
公的補助金などでまかなわれています。

PHJの財政基盤

2013年度からの平均収支



団体名	特定非営利活動法人 ピープルズ・ホープ・ジャパン 英文名：PH-Japan (People's Hope Japan)
住所	〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
設立年月	1997 年 1 月
理事長	小田 晋吾
スタッフ数	東京本部スタッフ：14名 (内フルタイム3名) 海外駐在スタッフ、 現地スタッフ：12名
賛助会員数	個人：910名 法人：約130団体 (2020年9月現在)
海外事務所所在地	海外事務所所在地 カンボジア、ミャンマー